

盲ろう学生の授業における

独自の学修支援体制の構築

筑波技術大学 大学院 技術科学研究科 情報アクセシビリティ専攻

意思表示

大学側の準備

①触手話通訳

- ・聴覚障害者向けの手話通訳者とは別に、触手話通訳者を配置
- ・専門性の高い通訳者の養成

②パソコン通訳

- ・パソコン文字通訳の点字表示対応
- ・視覚的情報（板書や資料などの情報）
- ・パソコン通訳では対応できない情報（学生の発言など）のサポート

予算の確保

盲ろう者向け通訳者の募集

盲ろう者向け通訳者の養成研修会の実施

パソコン通訳の点字対応化

本人とのきめ細かな打合せ



情報保障

触手話通訳



パソコン通訳

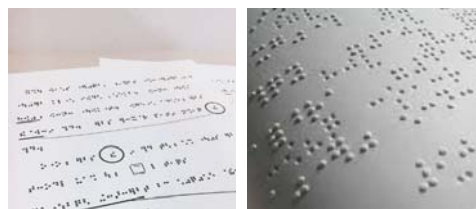


フォロー

ノートテイク



テキストデータ資料の提供



その他

- ◇資料等の代読、図・写真の解説
- ◇教職員・学生とのコミュニケーションの支援(通訳)
- ◇学内での移動支援

- 利用者の声：皆さんの盲ろう学生に対する理解と丁寧な支援のおかげで充実して学生生活を過ごせています。後輩のためにもできることは、これからも大学側と一緒に盲ろう学生にあるべき支援体制を考えていきたいと思ひます。
- 支援者の声：支援を始めてまだ半年で、今も色々試みていることがありますが、利用者のニーズにきちんと応えられているか確認しながら、利用者が満足できる支援ができるよう努めたいと思ひます。
- 教職員の声：盲ろう者の入学をきっかけに新しい世界がひらけました。本学の威信と誇りをかけて、今できるベストな支援体制を作り上げていきたいです。

お問い合わせ先

筑波技術大学大学院 技術科学研究科 情報アクセシビリティ専攻 特別支援WG
(E-mail) g-dss@nc.a.tsukuba-tech.ac.jp